

教えてはちくん!木づかい通信 Vol.15



大館市観光キャラクター

「はちくん」

※チェンソーマンVer.

テーマ

材が割れていても
大丈夫なのか?

～割れの方法は決まっている?～

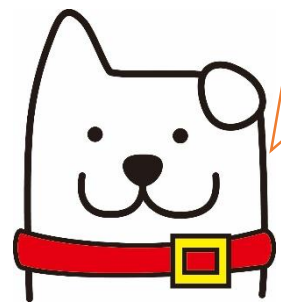
WOOD CHANGE! TOPICS:
「石田ローズガーデンの栗の木」

令和4年6月
産業部林政課

テーマ「材が割れていても大丈夫なのか？」

教えてはちくん！

「目からウロコの木のはなし、P37～40」



大きな断面の木材では乾燥による「干割れ」が生じることがありますが、割れの方向は木材の繊維（細胞壁）に沿った形、つまり木材の長さ方向に沿ってしか割れは生じません。細胞壁を横断するような形では割れないのです。

木材の幅方向に横断するような形で割れが入った状態ですと、木材に引張・圧縮・曲げなどの力が加わったときの耐力は低下しますが、長さ方向に割れが入っているのであれば耐力はほとんど落ちません。（あまりにも割れが大きい、割れの数が多い場合は話は別）
割れ

もう少し詳しく

割れ

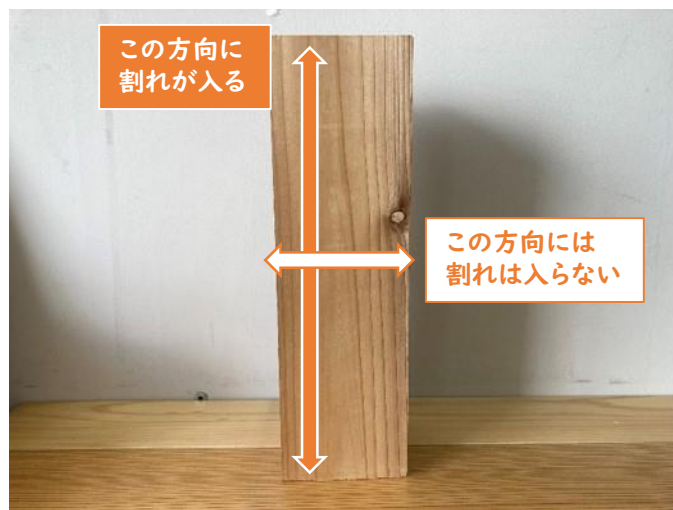
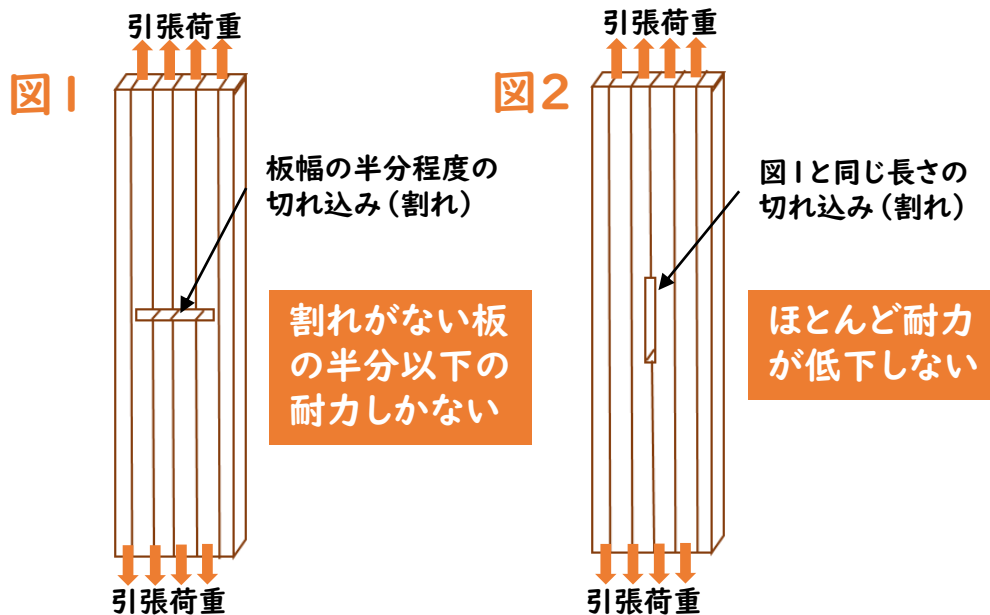


写真 スギ製材サンプル(105×105)



⇒人工的に最初から割れを入れてしまい、寸法のくずれや変形を抑制するのに利用しているのが「背割り」という方法です。一般的な使い方によって生じる割れはほとんどが想定内なので、基本的には心配には及ばないということにはなります。ただし、木材どうし、あるいは、木材と鋼製梁等などの接合部分に割れがあると強度が低下する可能性もありますので、ご注意ください。

「割れ」の例



秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」※秋田市
(写真:林 知行 氏 提供)



国登録有形文化財「桜櫓館」
玄関口



石田ローズガーデンには、大館市初の名誉市民である“石田 博英”氏が植えたと言われる栗の木がありました。

庭園のリニューアルにあたり、倒木のおそれがあることからやむを得ず伐採することになりました。

長い年月を石田氏とともに過ごし、庭園を見守ってきた栗の木を、引き続き多くの皆様に親しんでいただくため、伐採した栗の木を加工し、ソファやベンチなどの什器として生まれ変わりました。

石田ローズガーデンの栗の木

石田 博英 いしだ ひろひで(1914~1993)

1939年：早稲田大学政経学部を卒業。

中外商業新報社(現日本経済新聞社)に入社。

1947年：父の故郷である大館市へ戻り、日本国憲法のもとでの初の衆議院議員選挙に立候補し当選。以来36年余にわたり国会議員として活躍。

1957年：岸内閣で労働大臣に就任。

以来池田内閣で3回、佐藤内閣で1回、福田内閣で1回と通算6期にわたり労働大臣を務めた。

1993年：大館市民栄誉賞を受賞。死去。

バラの花を愛し、自宅の庭には世界各国の数百種のバラが植えられ、現在も「石田ローズガーデン」として市民に親しまれている。

石田ローズガーデン：[大館市ホームページ](#)

伐採前の栗の木(推定樹齢は80年以上)

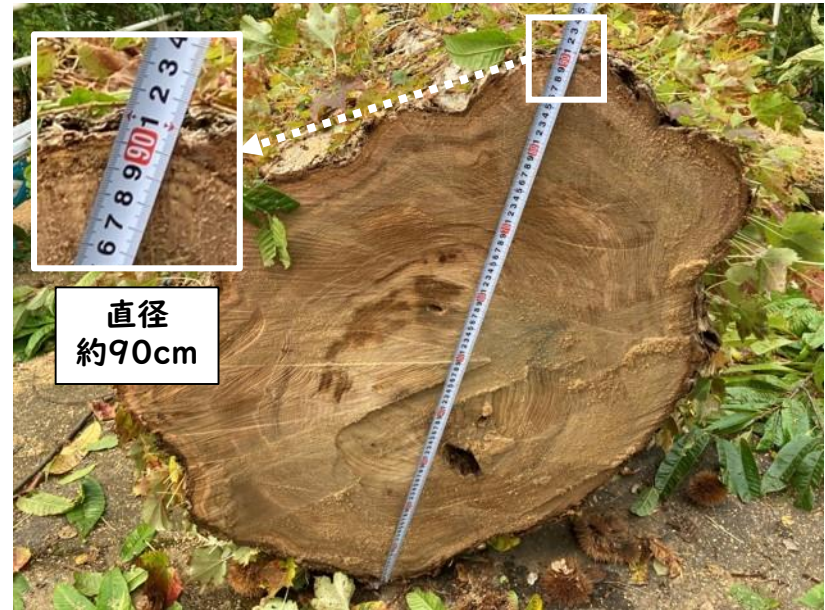
伐採前

伐採後

約10m

約160cm

直径
約90cm



製材加工後 (藤島木材工業(株)／北秋田市)



什器加工中 (HOLTO／北秋田市)



完成～設置状況



完成～設置状況



完成～設置状況



製材加工・什器製作に携わったお2人

木製家具職人

HOLTO 代表 布田 信哉さん

ホームページ: <https://holto.jp>

広葉樹 製材・集成材・フローリング

藤島木材工業(株) 取締役 藤島 新さん

ホームページ: <https://www.fujishima-l.com>



取材日: R4.6.27

メッセージ(布田さん・藤島さん)

大館市の名誉市民である石田氏が植えた栗の木の製材加工、什器製作に携わることができ、とても嬉しく思います!大館市民の皆さんをはじめとする多くの方に木の良さを感じて欲しいです!

— ありがとうございました!!